

# 青少年教育委員会 事業計画

委員長 井田 真一

つくば市は、日本で有数の国立の研究機関・大学を中心とする研究学園都市で研究者や留学生が多く住んでおります。しかし、つくば市で研究機関や外国の人たちを身近に感じられる機会は多くありません。近年、子供たちの理科離れが進んでおり、将来日本の科学技術研究や産業の基盤を揺るがす危機に繋がります。つくばの地域資源を活かし日本人が得意としてきたイノベーションを将来も継続して起こし続けられるための教育が必要です。

まずは、理科離れしている子供たちに科学の根本的楽しさや革新的アイデア・モノを生み出す面白さを知ってもらうために、JAXAや高エネルギー加速器研究機構等の研究機関と協力して子供たちが楽しめる所に絞ったサイエンスツアーを企画し、子供たちに研究機関をより身近に感じてもらいます。更に、地域の研究機関が何を行っている施設かを深く理解してもらえよう研究機関だけでなく行政にも働きかけ、見るだけでなく実体験ができるイベントを開催し、多くの人たちに科学に親しんでもらえる機会を作ります。また、国際交流委員会と協力して子供たちが国際交流をし、国際文化に触れ、より理解することができる事業を開催していきます。近年のグローバル化によって多国籍人財が文化を超えて協力することにより多くのイノベーションを起こしています。国際交流と国際文化の理解により、多国籍な環境に置かれても力を発揮できる人財を育てます。これらの事業で、子供のころから最先端の技術を体験するとともに、各国の研究者と交流することで、技術者としての力と多国籍のチームワークの両方を培い、世界に通用する人財を育成します。

幼少時から研究機関に触れることで科学に興味を持つ子供たちを増やし、更に外国の人たちと心触れ合うことで、最先端の技術に夢を持ち、世界中の仲間と肩を組み笑顔で交流ができる人財を育てることで、未来のつくばから世界にイノベーションを起こすのです。

## 〔事業計画〕

1. 研究機関と連携した青少年教育を目的とした事業の開催
2. 国際交流委員会と共に繋げる青少年の教育と国際交流を目的とした事業の開催
3. 会員育成、拡大

予 算

〇〇〇〇〇〇円

〇〇〇〇〇〇円

合 計

予想 500,000円